

# 倉掛新聞

《発行所》  
倉掛自治連合会  
井原市井原町倉掛  
会長／大坪正広

《編集》  
倉掛自治連合会  
倉掛少年団育成部  
倉掛消防分団第5

## 倉掛に善行賞

### 積極的活動を評価

井原市

平日頃から積極的にコミュニティ活動を展開し、住みよいまちづくりに貢献している二団体と三人の善行表彰式が五月二十六日、井原市消防署第一会議室で行われ、谷本巖市長から倉掛自治連合会の大坪会長に賞状が授与された。

倉掛自治連合会の授賞は広報紙発行をはじめ近年、少子化に伴う少年団活動の支援や秋祭り盛り上げなどが評価されたもの。弊紙「倉掛新聞」は平成

## 向町に惜敗

### 井原町春季球技大会



### 倉掛バレーボール同好会・連続準優勝

井原町春季球技大会（井原公民館主催）が四月二十日、井原小学校体育館で行われ、倉掛バレーボール同好会（谷典子代表）が昨春秋に続いて準優勝の好成績を収めた。

試合はA B 2面のコートを使って行われ、倉掛は第一試合で強豪の新町と対戦して2-0、続く第二試合も中町をストレートで下した。下町も同じBコートで2勝を挙げたが、得点差で倉掛が勝ち上がった。

向町との決勝戦は序盤、倉掛がリード。しかし中盤

九年五月、自治連合会・婦人会・少年団育成会・消防団関係者で編集委員会を組織、総会の承認を得て創刊にこぎつけた。年六〜七回程度発行しており、本紙で三十八号目。

### 表彰状

倉掛自治連合会殿

あなたは善行を通じ明るく住みよいまちづくりに貢献されました。コミュニティ活動推進月間にあたり、その功績をたたえ表彰します。

平成十五年五月二十日  
井原市長 谷本 巖

## お疲れさま

### 全戸溝掃除終える 消防団も終日活動



消火栓に黄色の即乾性塗料を塗る  
第5部消防団員 六月一日

賞したことを意味する」。妹尾一成総務広報部長ら編集委員は「新聞によって自治運営情報や地域の話題など

を共有できる。住民交流を促進し、明るいまちづくりに役立つことを願っている」と話している。

かったことについて自治連合会の川相弘光環境衛生部長は「駅前通りの西側歩道工事完了で、工区内の溝掃除が不要だった」と、理由の一つを挙げている。

### 「溝蓋動かない」

今年も「コンクリート製の溝蓋を動かして掃除を行うのは困難」とする高齢者世帯や「側溝が狭まり人の力ではどうにもならない」と嘆く事業所があって、連合会では対応に苦慮した。しかし、「関係する範囲の溝掃除は自己処理が原則」とする従来のあり方は、やむを得ないとの判断を示した。

## 参加希望者を調査

### いきいきサロン

自治連合会の役員らが五月十六日、市社会福祉協議会の担当者をして勉強会を行った。その結果、県や市が提唱している福祉コミュニティが身近なところにあることは「高齢化の進む社会において意義深い」との考えで一致。今月中に回覧ルートで参加希望調査を実施する運びとなった。

## 保険3社が撤退

### 事業所会費収入は横ばい

自治会会計

倉掛自治連合会は五月十六日以降、事業主が倉掛に居住していない「地区外事業所」と呼ばれる銀行や商店などに対して自治会費の拠出を依頼中。これまでに

訪問したすべての事業所から協力を得ている。倉掛地内に営業所を構えていた明治生命・三井生命・東京海上火災の大手保険会社が次々と撤退する一

方、塾や運動具店などが増え、事業所自治会費収入は前年度並みを確保できる見通しとなった。自治連合会の長尾謙治会計は「長引く経済不況が微妙に影響している。自治会費の集金は各世帯や事業所のご理解が欠かせない」と述べ、日頃の協力体制に感謝している。

# 高まる住民協力

## 気温上昇 汗だく 計22トンを回収

### 倉掛少年団 廃品回収

少年団やボランティアら約40人が作業に精を出した



倉掛少年団春季廃品回収が6月8日に行われ、住民の高い協力意識もあって、回収量は古新聞や雑誌・空き缶など、計22トンに上った。

午前八時三十分、井原大橋の下に集合した関係者を前に、育成会の佐能敏政会長が「交通事故などに気を付けて頑張りましょう」と挨拶。四、五人の班に分かれて回収に移った。夏を思わせる日差しの下で、団員の積極的な動きが目立った。育成会の役員らは「人数が少ないことを皆が自覚しているからでは」と目を細めていた。積み込み作業も効率良く進み、約三時間後には大型

トラック2台の荷台も満杯に。少年団の丸山泰弘団長は「皆様のおかげでたくさん集まりました」と、笑顔

で話していた。今回はボランティア十人が応援に駆けつけ、共に汗を流した。

# ユニホーム一新

## 倉掛ソフトボール同好会



新しいユニホームでチームの士気もアップ=井原中学校

倉掛ソフトボール同好会(山本勝己監督)のユニホ

ームが、今シーズンから新しくなった。黒と白を基調としたシン

だ、関わった人の保護観察が解けたときは嬉しかったですね」と、振り返っている。

ブルなデザインで、五月十八日に始まったリーグ戦から着用している。他チームの選手の一人は「何だか強

# 倉掛ほっと情報

■6月の随想散歩館  
「94歳の母の介護と田舎ぐらし」  
話題提供者：花川安伴氏(芳井町)  
とき：6月29日(日) 午後2時～(無料)  
会場：井原市立図書館3階ホール  
※問い合わせは ☎62-0822 (図書館)

■環境省推薦アニメーション映画のご案内  
「ダイオキシンの夏」  
とき：8月24日(日) 開場12:30 13:00～  
会場：地場産業振興センター5階  
入場料：200円(小学生以上)  
※問い合わせは上映実行委員会へ  
代表 倉橋雅子(倉掛13-3組) ☎62-2863  
あらすじ・1976年に北イタリアの街セベソで化学工場の爆発事故が起き、白い灰が降った直後から、鳥や犬・猫が死ぬ。11歳のジュリアはその原因を突き止めようと「セベソ少年探偵団」を結成。日本人記者も加わり調査は進む。やがて少年らは、1gで83万匹のモルモットを殺せるダイオキシン汚染の実態を知ること

- ◆ 行事予定 ◆  
6/21 自治連合会防犯パトロール  
6/22 井原学区少年団球技大会  
7/12 資源の日 古紙・古着等収集 午前7時30分～9時  
7/17 井原市庁舎落成式  
7/18 市内小中学校1学期終業式  
7/19 自治連合会防犯パトロール  
7/19-20 倉掛少年団キャンプ  
7/21 ラジオ体操 8/3迄 (郷社)  
8/2 井原市夏まつり  
8/3 第5部消防団試運転日  
8/3 倉掛少年団公園清掃奉仕作業  
8/3 井原市花火大会  
8/9 資源の日 古紙・古着等収集 午前7時30分～9時  
8/10 井原町盆踊り大会(井原小)  
8/16 自治連合会防犯パトロール  
8/17 井原小学校PTA奉仕作業  
9/14 井原町敬老会(井原小)  
9/20 井原中学校運動会(雨天21日)  
9/28 井原町大運動会(井原小)

そうに見えますねー」。  
六月十五日には井原中学

校グラウンドで岩野との試合が行われた。倉掛は1回裏に攻め込まれたが、2回表に山元幸治選手の2点本塁打などで5得点、3回にも1点を加えリードを奪った。しかしその後、岩野に食いつがられ、この日は7-9と逆転負けを喫した。

右手薬指の骨折でベンチ入り之余儀なくされている田中利治選手は「チームの調子は良い。七月からはきっと勝ちますよ」と、強気に語っていた。

みを示している。  
自治連合会では「倉掛は数年前から十数人が鬼になっている。今年は公民館活動への参加を含め、より多くの方々に協力をお願いしたい」として、鬼に扮するための面・赤熊・棒・着物・帯・草履(下駄)などを早めに準備するよう呼び掛ける方針。詳細は自治連合会役員まで。

井原公民館の田辺匡人館長は「町民各位の熱意を結集すれば、賑やかな鬼まつりになるはず」と、意気込

多くなると見せたいかつての井原町秋まつりを魅了しようと先般、井原公民館関係者らが運営委員会を組織した。

多くの鬼で賑わいを見せていたかつての井原町秋まつりを魅了しようと先般、井原公民館関係者らが運営委員会を組織した。

今年度の鬼祭りは、井原市制施行五十周年を祝う記念

市制施行五十周年記念事業

# 鬼祭り復活へ

## 市制施行五十周年記念事業

### 井原公民館

# 市から感謝状

## 元保護司の倉橋光子さんへ

### 倉掛6組



井原市制施行五十周年記念式典が四月十九日に市民会館で行われ、長年にわたる保護司として社会福祉に尽くした倉掛六組倉橋光子さんに感謝状が贈られた。

「思いがけない事です」と話す倉橋さんは昭和四十一年十月、犯罪者の更生及び保護、青少年健全育成や非行防止などに取

組む保護司を委嘱された。以後二十八年間、社会の目立たない分野にあって大切な役割を担った。地域浄化への貢献が顕著であるとして、平成四年には法務大臣表彰を受けている。

倉橋さんは「特別に役立った訳ではありません。た

保護司は法務大臣から委嘱された無給・非常勤の国家公務員。保護観察を受けている人と接触を避け、生活状況を把握した上で、立ち直りに必要な指導や就学・就職などの調整を図ったり問題解決に当たる篤志家。

保護司は法務大臣から委嘱された無給・非常勤の国家公務員。保護観察を受けている人と接触を避け、生活状況を把握した上で、立ち直りに必要な指導や就学・就職などの調整を図ったり問題解決に当たる篤志家。

保護司は法務大臣から委嘱された無給・非常勤の国家公務員。保護観察を受けている人と接触を避け、生活状況を把握した上で、立ち直りに必要な指導や就学・就職などの調整を図ったり問題解決に当たる篤志家。

保護司は法務大臣から委嘱された無給・非常勤の国家公務員。保護観察を受けている人と接触を避け、生活状況を把握した上で、立ち直りに必要な指導や就学・就職などの調整を図ったり問題解決に当たる篤志家。